

平成29年度
高野町文化財調査年報

2019

高野町教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成29年度における高野町教育委員会が実施した文化財関連事業をまとめたものである。
- 2 本書に掲載した発掘調査成果の概要は、平成29年度に現状変更許可申請、埋蔵文化財発掘の通知・届出がされたものを対象としている。そのため、一部平成30年度に実施した発掘調査成果を含んでいる。
- 3 発掘調査は、高野町教育委員会職員（池田一城、飯野尚子、木本誠二）が行なった。
- 4 本書に収録した発掘調査関係の資料は、高野町教育委員会において保管している。
- 5 本書の執筆・編集は、高野町教育委員会の木本が行なった。

目 次

例 言

1 平成29年度発掘調査等の概要	1
2 史跡現状変更に伴う調査	4
3 埋蔵文化財包蔵地における調査	11
抄 録	22

1 平成29年度発掘調査等の概要

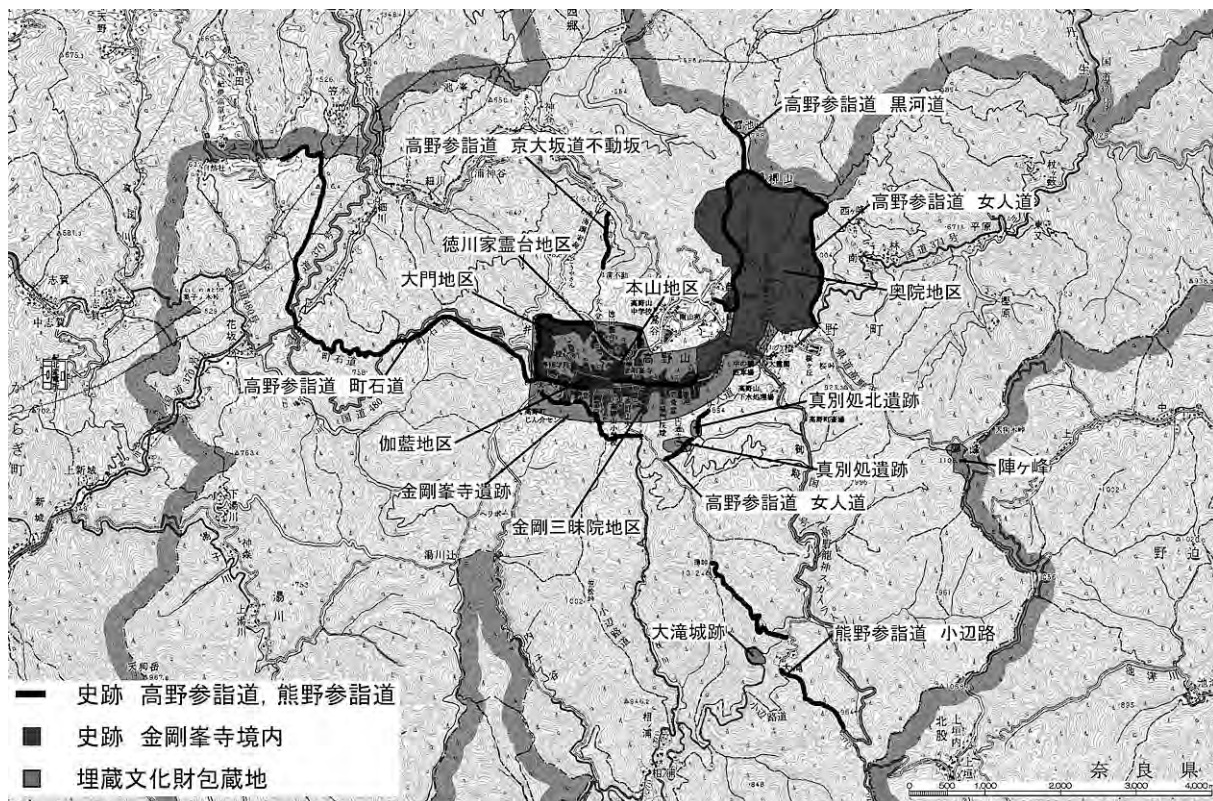
29年度に申請された史跡現状許可申請は15件、埋蔵文化財包蔵地における届出・通知は27件である。史跡では、表1のとおり工事立会9件（内1件は工事中止）、慎重工事が6件で大半が金剛峯寺境内の奥院地区での墓所建設・改修である。埋蔵文化財包蔵地では、表2のとおり確認調査4件、工事立会15件（内2件が工期中止、1件が工事延期）、慎重工事が8件であり、全て金剛峯寺遺跡である。

調査番号	史跡名	地区名	現状変更	調査期間	遺構	遺物	調査面積	取扱い
KBS17-01	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.06.12	無	無	2㎡	工事立会
KBS17-02	金剛峯寺境内	奥院地区	危険木伐採					慎重工事
KBS17-03	金剛峯寺境内	奥院地区	仮設足場設置					慎重工事
KBS17-04	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.09.07	無	無	2.6㎡	工事立会
KBS17-05	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所玉垣設置					慎重工事
KBS17-06	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.09.07	無	無	1.6㎡	工事立会
KBS17-07	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.11.14	無	無	3.3㎡	工事立会
KBS17-08	金剛峯寺境内	伽藍地区	説明板設置					慎重工事
KBS17-09	金剛峯寺境内	伽藍地区	危険木伐採					慎重工事
KBS17-10	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.11.14	無	無	5.7㎡	工事立会
KBS17-11	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.11.17	無	無	1㎡	工事立会
KBS17-12	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.12.20	無	無	4.4㎡	工事立会
KBS17-13	高野参詣道	町石道	埋設電話線設置	29.11.24	無	石造物	24㎡	工事立会
KBS17-14	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	工事中止				工事立会
KBS17-15	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設					慎重工事

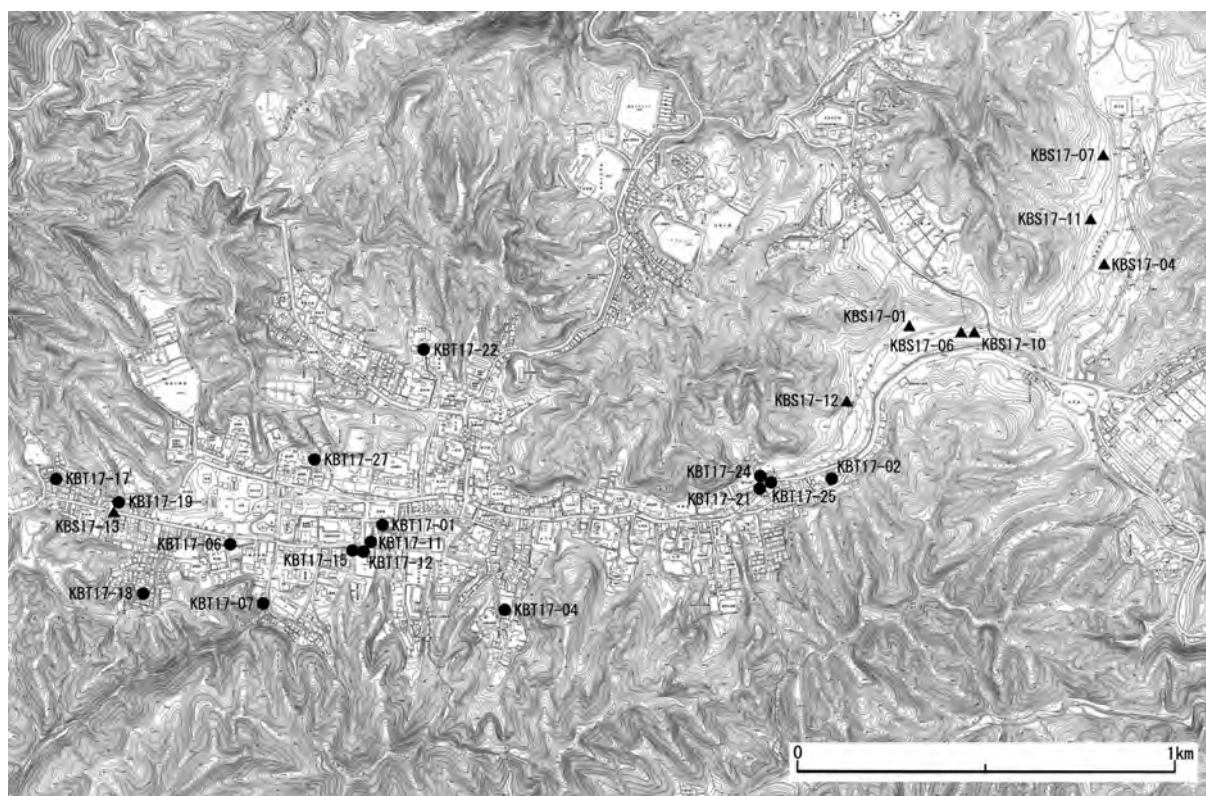
表1 平成29年度 史跡現状変更許可申請一覧表

調査番号	遺跡名	所在地	開発種別	調査期間	遺構	遺物	面積	取扱い
KBT17-01	金剛峯寺遺跡	高野山361	その他開発	29.10.17	無	無	2.4㎡	工事立会
KBT17-02	金剛峯寺遺跡	高野山529		29.04.19	無	瓦器、陶器 磁器等	4.5㎡	確認調査
KBT17-03	金剛峯寺遺跡	高野山306	その他開発	工事中				工事立会
KBT17-04	金剛峯寺遺跡	高野山425	その他開発	29.07.06	無	無	7㎡	工事立会
KBT17-05	金剛峯寺遺跡	高野山306	その他開発					慎重工事
KBT17-06	金剛峯寺遺跡	高野山299-2	その他開発	29.07.12	無	土器	3㎡	工事立会
KBT17-07	金剛峯寺遺跡	高野山313		29.07.04	無	無	4.5㎡	確認調査
KBT17-08	金剛峯寺遺跡	高野山313	その他建物					慎重工事
KBT17-09	金剛峯寺遺跡	高野山529	その他建物					慎重工事
KBT17-10	金剛峯寺遺跡	高野山548	その他開発					慎重工事
KBT17-11	金剛峯寺遺跡	高野山350	電話通信	29.09.20	無	無	13㎡	工事立会
KBT17-12	金剛峯寺遺跡	高野山357		29.09.18 ~29.09.20	無	陶器、磁器 石造物	24㎡	確認調査
KBT17-13	金剛峯寺遺跡	高野山293	電話通信	工事中				工事立会
KBT17-14	金剛峯寺遺跡	高野山357	その他建物					慎重工事
KBT17-15	金剛峯寺遺跡	高野山357	その他建物	29.10.24	無	陶器、磁器	4㎡	工事立会
KBT17-16	金剛峯寺遺跡	高野山234-1	その他開発					慎重工事
KBT17-17	金剛峯寺遺跡	高野山244	その他開発	29.11.30	無	無	21.4㎡	工事立会
KBT17-18	金剛峯寺遺跡	高野山268	その他開発	30.03.22	無	無	500㎡	工事立会
KBT17-19	金剛峯寺遺跡	高野山805	電話通信	29.11.24	無	無	2㎡	工事立会
KBT17-20	金剛峯寺遺跡	高野山636	その他開発					慎重工事
KBT17-21	金剛峯寺遺跡	高野山556		29.12.18 ~29.12.19	無	無	1.54㎡	確認調査
KBT17-22	金剛峯寺遺跡	高野山650	電気	30.04.04	無	無	0.56㎡	工事立会
KBT17-23	金剛峯寺遺跡	高野山556	その他開発					慎重工事
KBT17-24	金剛峯寺遺跡	高野山556	水道	30.04.11 ~30.04.12	無	陶器、磁器	88㎡	工事立会
KBT17-25	金剛峯寺遺跡	高野山556	農業関係	30.04.12	無	無	3㎡	工事立会
KBT17-26	金剛峯寺遺跡	高野山字西院 谷80	電話通信	工事延期				工事立会
KBT17-27	金剛峯寺遺跡	高野山字本中 院谷145	個人住宅	30.04.11 ~30.05.10	土坑等	陶器、磁器	280㎡	工事立会

表2 平成29年度 埋蔵文化財包蔵地における届出・通知一覧表



第1図 史跡・埋蔵文化財包蔵地位置図 (1 : 100,000)



第2図 調査地点位置図 (1 : 20,000)

2 史跡現状変更に伴う調査

＜史跡の概要＞

高野町には、金剛峯寺境内、高野参詣道、熊野参詣道の3つの史跡がある。金剛峯寺境内は、大門地区、伽藍地区、本山地区、奥院地区、徳川家霊台地区、金剛三昧院地区という6地区により構成され、高野参詣道には、町石道、京大坂道不動坂、女人道、黒河道という複数の参詣道がある。これらのうち、今回現状変更に伴う調査を実施したのは、金剛峯寺境内の奥院地区と伽藍地区、高野参詣道の町石道である。

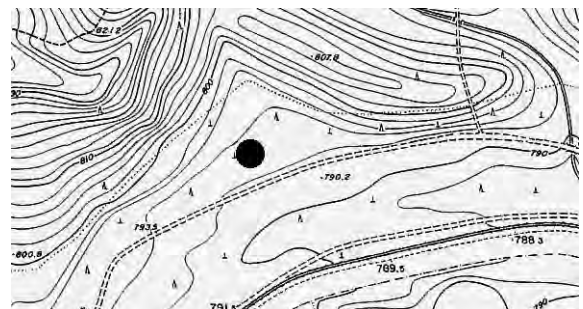
金剛峯寺境内の奥院地区は、高野山の外八葉と呼ばれる山々に囲まれた盆地状平坦地の東部にあり、承和2年（835）に入定した空海の御廟のある聖地で一の橋から御廟に至る約2kmの参道の両側には樹齢数百年の杉が林立し、数十万基ともいわれる墓石や供養塔が建ち並ぶ。

金剛峯寺境内の伽藍地区は、盆地状平坦地の西部にあり、弁天岳から東へ延びる尾根先端の緩傾斜地を利用して広い平坦面を造成している。ここは壇上伽藍と呼ばれ、空海が高野山を開創するにあたり最初に開かれた場所で、奥之院と並ぶ高野山の二大聖地とされる。現在壇上伽藍には、高野山の鎮守として空海が勧請した明神社の他、西塔、孔雀堂、准胝堂、御影堂、六角経蔵、金堂、根本大塔、鐘楼、愛染堂、大会堂、三昧堂、金剛峯寺不動堂、東塔が建ち並び、これらの諸堂や堂内の仏像により真言密教の教義である胎藏界曼荼羅を表現している。

高野参詣道の町石道は、高野山の壇上伽藍を基点とし山麓の慈尊院に至る区間と、壇上伽藍から奥之院に至る区間である。道沿いには1町毎に五輪塔形の町石が建ち、壇上伽藍から慈尊院の間に180基、壇上伽藍から奥之院の御廟の間に36基の計216基の町石がある。この町石は、鎌倉時代に覚敷の発願によって行なわれ、文永2年（1265）から20年をかけて弘安8年（1285）に完成している。

KBS 17-01

- | | |
|---------|------------|
| 1 史跡名 | 金剛峯寺境内 |
| 2 地区名 | 奥院地区 |
| 3 調査主体 | 高野町教育委員会 |
| 4 調査担当者 | 池田一城・木本誠二 |
| 5 調査の期間 | 平成29年6月12日 |
| 6 調査原因 | 墓所建設 |
| 7 調査の概要 | |



第3図 調査の位置（1：5,000）

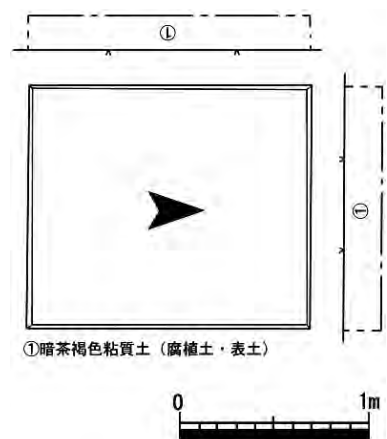
墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、暗茶褐色粘質土の表土のみであり、遺物、遺構は確認できなかった。



第4図 調査区全景



第5図 西壁土層断面



①暗茶褐色粘質土（腐植土・表土）

第6図 西壁土層断面（1：40）

KBS 17-04

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年9月7日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から暗茶褐色粘質土(表土・盛土)、明褐色砂質土(盛土)、暗灰褐色瓦礫混じり砂質土(盛土)となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



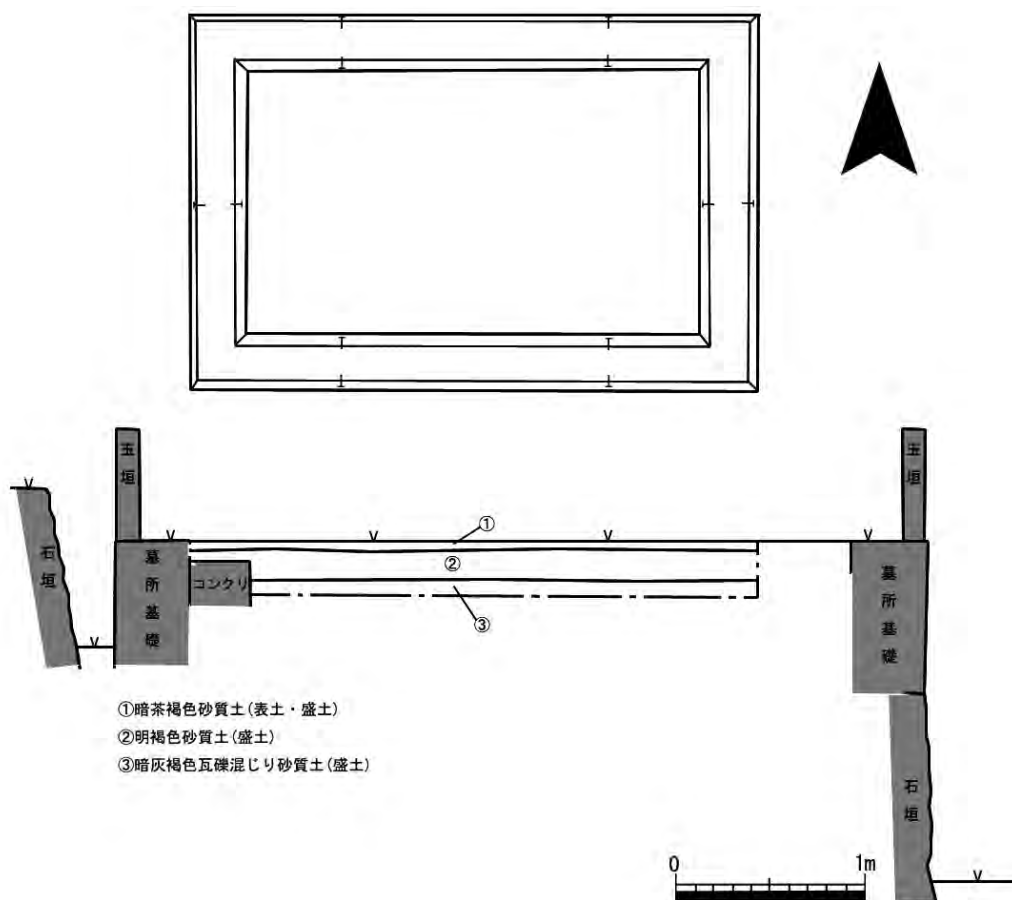
第7図 調査の位置 (1:5,000)



第8図 調査地全景



第9図 東壁土層断面

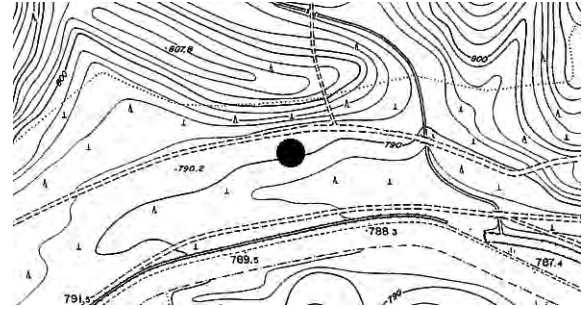


第10図 平面・断面図 (1:40)

KBS 17-06

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年9月7日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から暗褐色粘質土（表土）、淡黄褐色礫混じり粘質土（攪乱）、にぶい明褐色粗砂混じり粘質土、明褐色礫混じり粘質土となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



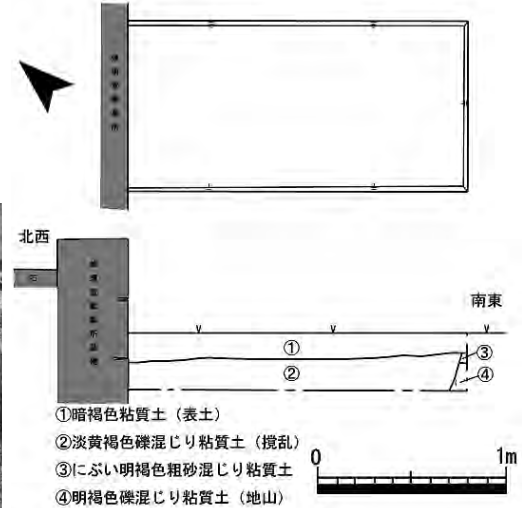
第11図 調査の位置 (1:5,000)



第12図 調査地全景



第13図 南西壁土層断面

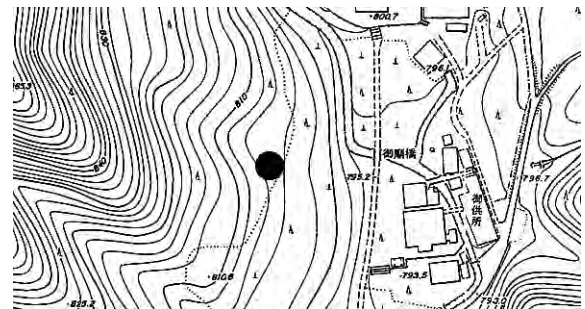


第14図 平面・断面図 (1:40)

KBS 17-07

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年11月14日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から暗茶褐色粘質土（表土）、黒灰褐色粘質土（盛土）、淡黄褐色と灰褐色の斑状の粘質土（盛土）、暗灰褐色粘質土（旧表土）、明黄褐色粘質土（地山）となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第15図 調査の位置 (1:5,000)



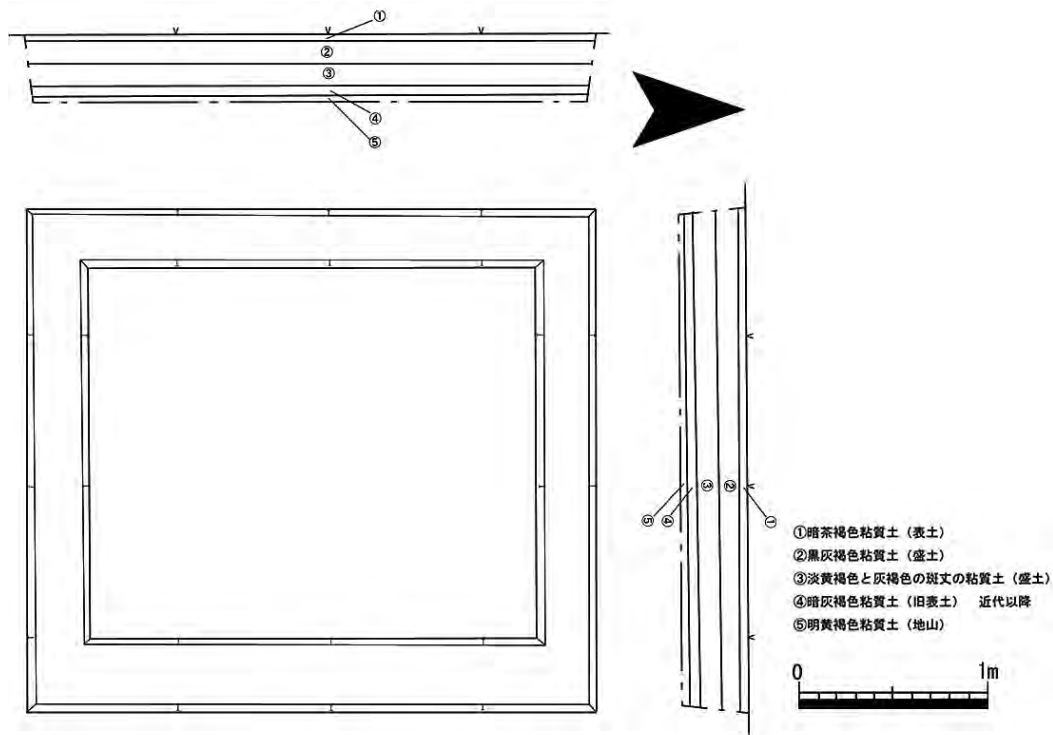
第16図 調査地全景



第17図 北壁土層断面



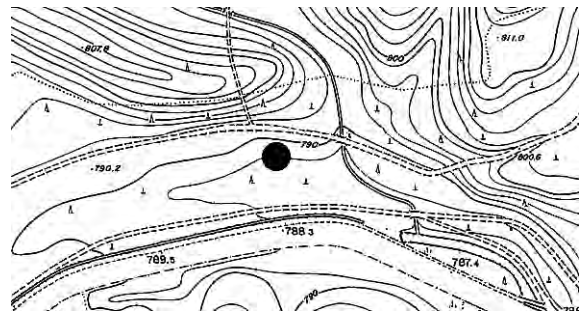
第18図 西壁土層断面



第19図 平面・断面図 (1:40)

KBS 17-10

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年11月14日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第20図 調査の位置 (1:5,000)

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から黒褐色粘質土（表土）、灰褐色礫層（指先大の礫主体）、にぶい灰褐色砂質土、にぶい黄褐色礫混じり砂質土であり、調査範囲の西半は大きく攪乱をうけている。遺物、遺構は確認できなかった。



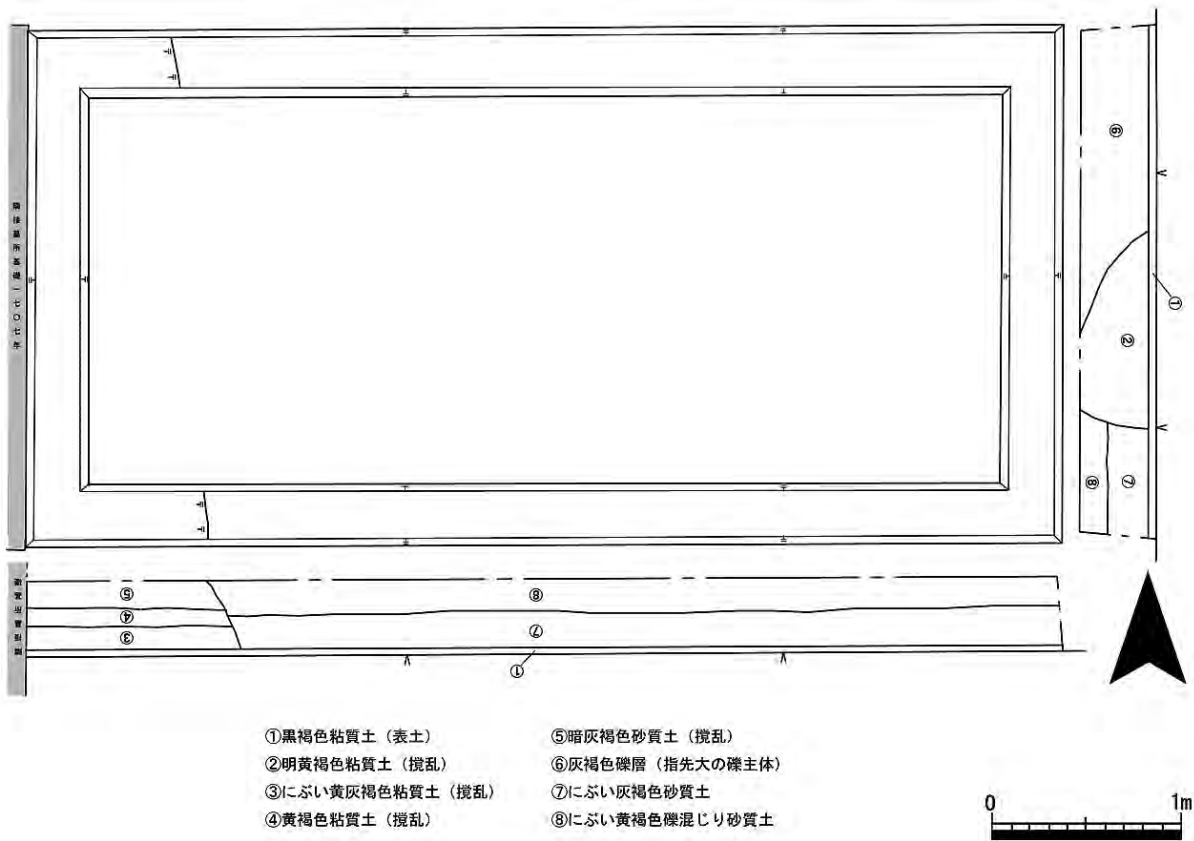
第21図 調査地全景



第22図 東壁土層断面



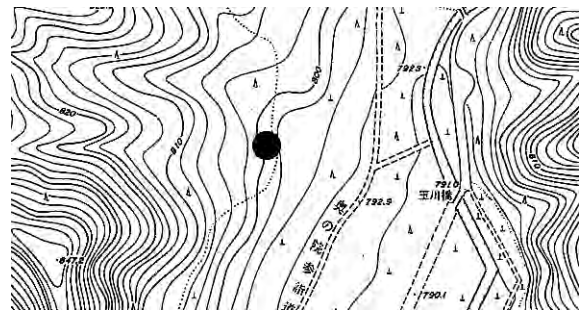
第23図 南壁土層断面



第24図 平面・断面図 (1 : 40)

KBS 17-11

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城
- 5 調査の期間 平成29年11月17日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第25図 調査の位置 (1 : 5,000)

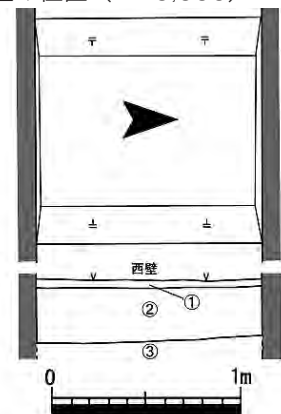
墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から黒褐色腐植土 (表土)、黄灰褐色砂質土、褐灰色シルトとなっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第26図 調査地全景



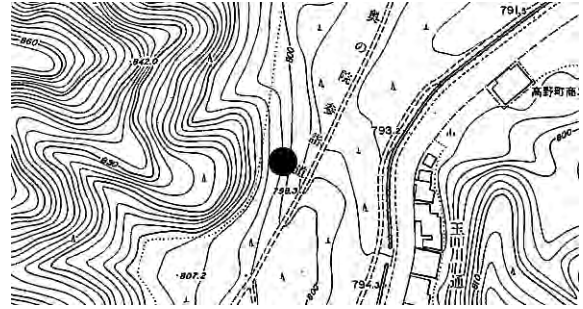
第27図 西壁土層断面



第28図 平面・断面図 (1 : 40)

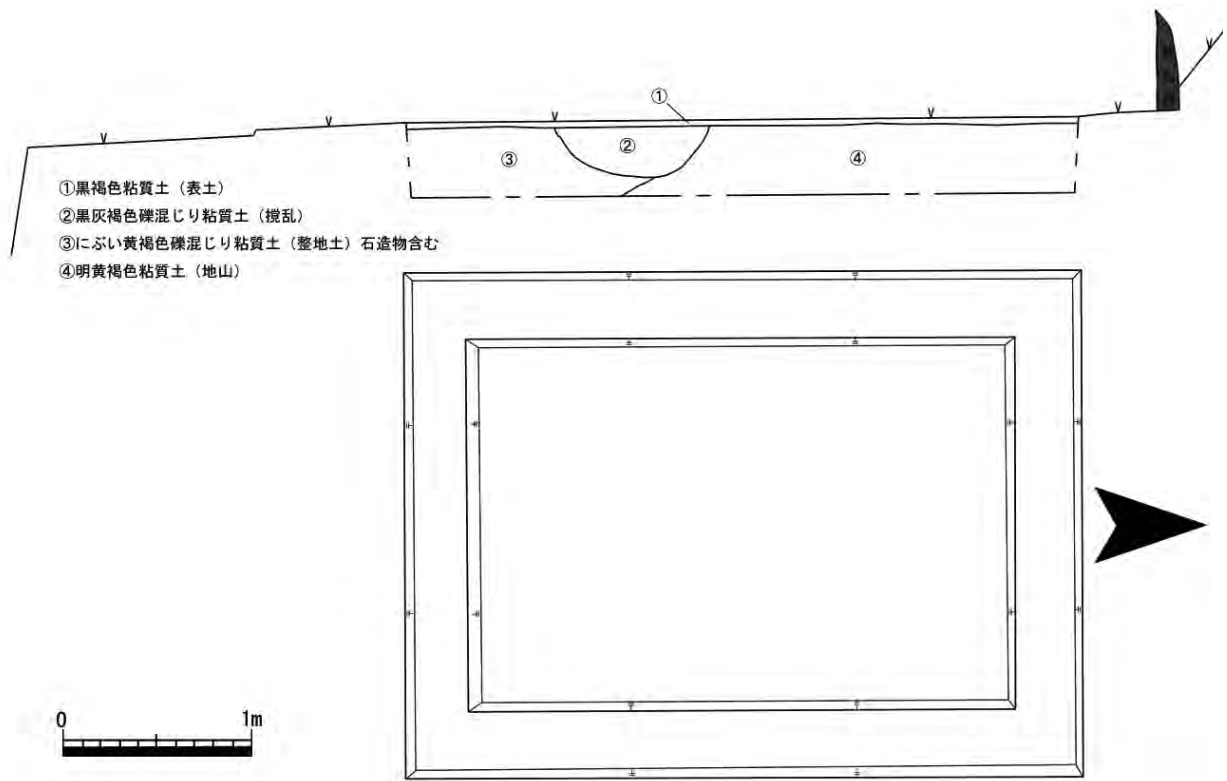
KBS 17-12

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年12月20日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第29図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所建設に伴う掘削時に立会調査を実施した。調査基点の北半は黒褐色粘質土の表土直下が、明黄褐色粘質土の地山であり、南半は表土直下が、近世頃の一石五輪塔等の石造物を含むにぶい黄褐色礫混じり粘質土であった。近代以降に平坦面の拡幅のため造成したものと思われ、これにより平坦面が約2.5mから約6mまで拡幅されている。



第30図 平面・断面図 (1 : 40)



第31図 調査地全景



第32図 西壁土層断面



第33図 出土石造物

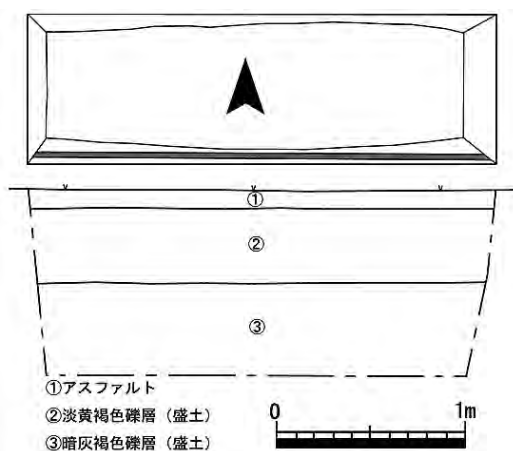
KBS 17-13

- 1 史跡名 高野参詣道
- 2 地区名 町石道
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城
- 5 調査の期間 平成29年11月24日
- 6 調査原因 埋設電話線設置
- 7 調査の概要



第34図 調査の位置 (1 : 5,000)

電信電話線の管路埋設の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上からアスファルト、淡黄褐色礫層（盛土）、暗灰褐色礫層（盛土）となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第35図 平面・断面図 (1 : 40)



第36図 土層断面

3 埋蔵文化財包蔵地における調査

<遺跡の概要>

平成29年度中に調査が行なわれた遺跡は、金剛峯寺遺跡のみである。金剛峯寺遺跡は、高野山の外八葉と呼ばれる山々に囲まれた山上の盆地状平坦地のほぼ全てを包括する平安時代以降の寺院跡である。近世には1,000を超える子院が建ち並び、現在も117か寺の子院が建ち並ぶ。金剛峯寺遺跡のうち、特に重要なものについては、金剛峯寺境内として国の史跡に指定されている。

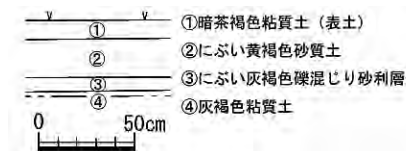
KBT 17-01

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山361
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年10月17日
- 6 調査原因 植樹
- 7 調査の概要



第37図 調査の位置 (1:5,000)

植樹の掘削に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約40cmであり、確認した土層は、上から暗茶褐色粘質土（表土）、にぶい黄褐色砂質土、拳大の礫混じり砂利層（マトリックス にぶい灰褐色砂質土）、灰褐色粘質土であり、遺構、遺物は確認できなかった。



第38図 土層断面図 (1:40)



第39図 土層断面

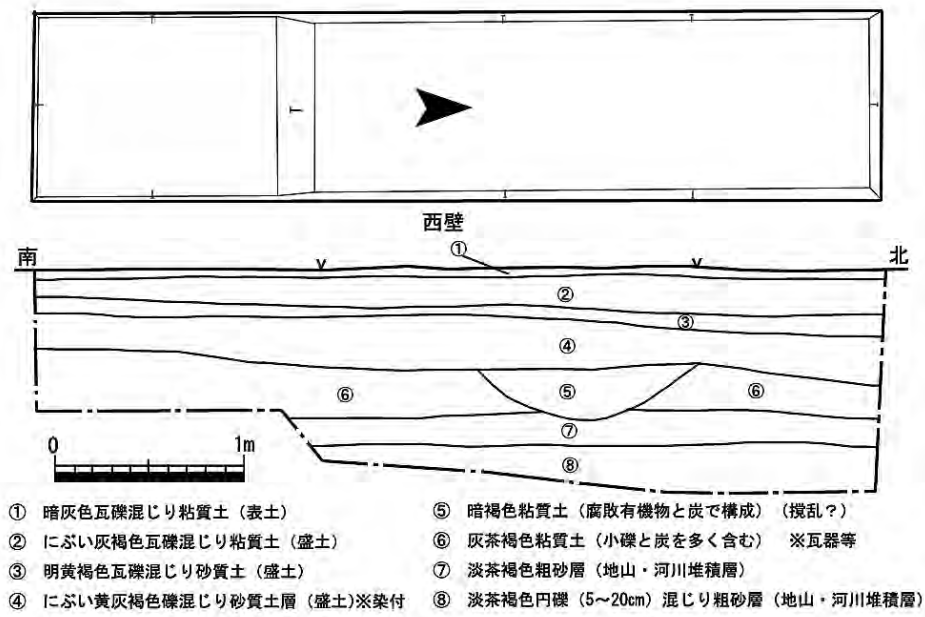
KBT 17-02

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山529
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年4月19日
- 6 調査原因 確認調査
- 7 調査の概要



第40図 調査の位置 (1:5,000)

当該地における今後の埋蔵文化財保護のため、1本のトレンチ (1.0×4.5m) を設定し、確認調査を行った。地表面から約50cmは現代盛土であり、その下層は、瓦器を含む包含層、河川堆積層と続くが、遺構は確認できない。今回の調査地付近は河川を埋め立てた土地であり、遺跡は存在しないが、瓦器等の遺物がみられることから周辺には、中世以降の遺跡が存在する可能性があり、今後注意が必要である。



第41図 平面・断面図（1：40）



第42図 調査地全景



第43図 西壁（南半部）土層断面



第44図 西壁（北半部）土層断面

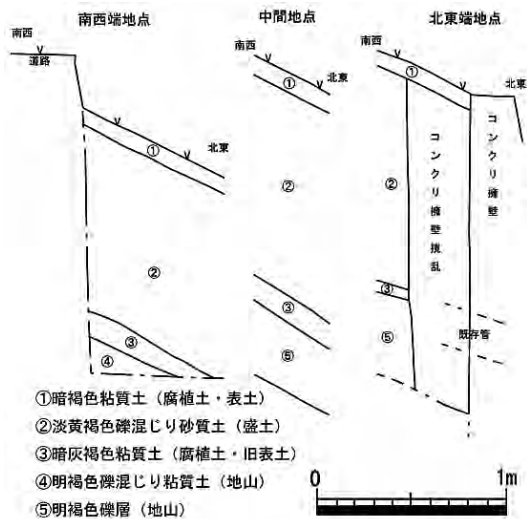
KBT 17-04

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山425
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年7月6日
- 6 調査原因 防災消火管の補修
- 7 調査の概要



第45図 調査の位置（1：5,000）

既設管の補修に伴う掘削の際に伴い立会調査を実施した。調査地は、金剛三昧院北東の約30度の急傾斜地である。地表面から約110cmは現代盛土であり、旧表土層、地山と続く。遺構、遺物は確認できなかった。



第46図 土層断面図 (1:40)

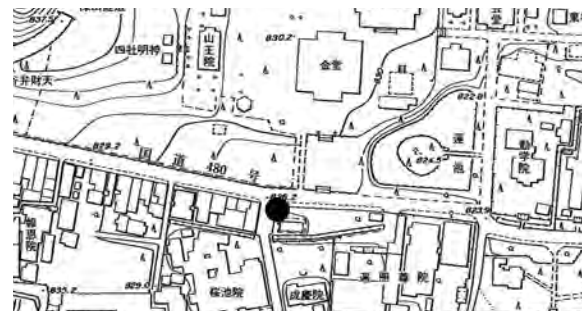


第47図 土層断面状況 (南西端・中間・北東端)

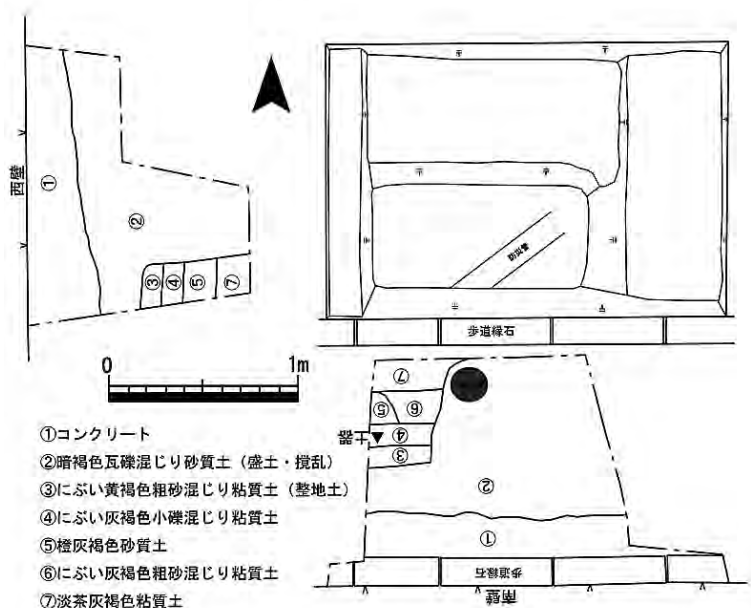
KBT 17-06

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山299-2
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年7月12日
- 6 調査原因 防災消火管の補修
- 7 調査の概要

既設管の補修に伴う掘削の際に伴い立会調査を実施した。大部分は、既設管に伴う掘削等で攪乱をうけているが、一部で近世以前と思われる土層が残っていた。攪乱を受けていない部分で確認した土層は上から、整地土と思われる粗砂を多く含むにぶい黄褐色粘質土、粗砂と小礫を含むにぶい灰褐色粘質土、橙灰褐色砂質土、にぶい灰褐色粘質土、淡茶灰褐色粘質土である。整地土以下のグライ化した層は土地利用開始前の湿地状況での堆積層と思われる。



第48図 調査の位置 (1:5,000)



第49図 平面・断面図 (1:40)



第50図 調査地全景



第51図 西・南壁土層断面



第52図 南壁土層断面

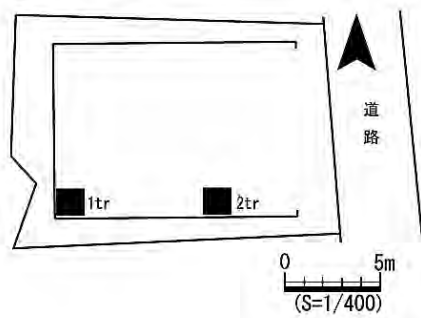
KBT 17-07

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山313
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年7月4日
- 6 調査原因 確認調査
- 7 調査の概要

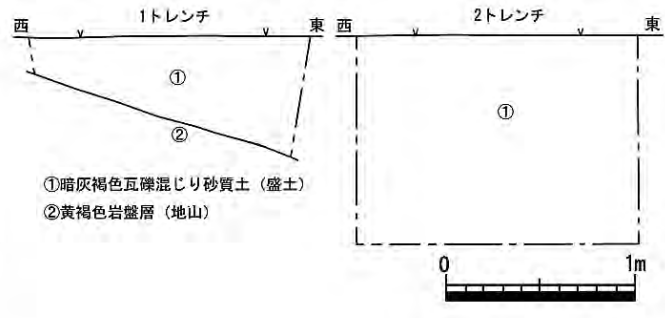


第53図 調査の位置 (1:5,000)

当該地における今後の埋蔵文化財保護のため、2本のトレンチ (1.5×1.5m) を設定し、確認調査を行った。現代盛土直下が地山となっており、遺構、遺物は確認できなかった。



第54図 トレンチ配置図 (1:400)



第55図 土層断面図 (1:40)



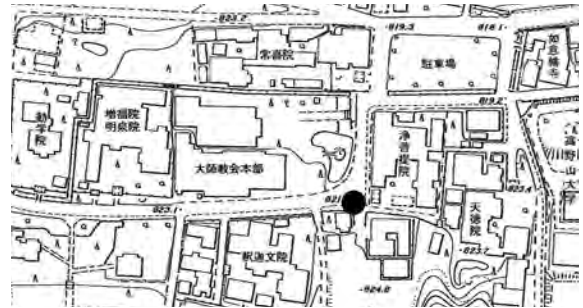
第56図 1トレンチ土層断面



第57図 2トレンチ土層断面

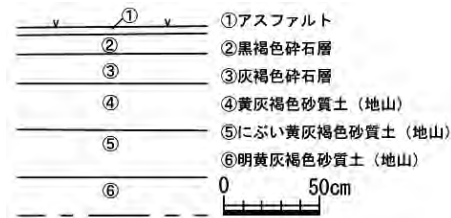
KBT 17-11

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山350
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年9月20日
- 6 調査原因 電話通信線埋設
- 7 調査の概要



第58図 調査の位置 (1:5,000)

電和通信線の埋設工事に伴い立会調査を実施した。道路構造物の直下が地山となっており。遺構、遺物は確認できなかった。



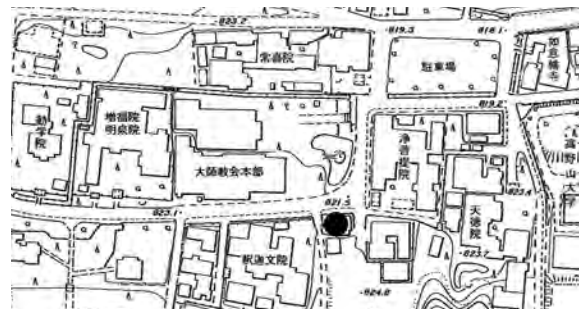
第59図 土層断面図 (1:40)



第60図 南壁土層断面

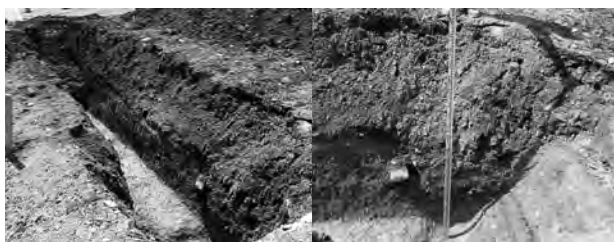
KBT 17-12

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山357
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年9月18日～9月20日
- 6 調査原因 確認調査
- 7 調査の概要



第61図 調査の位置 (1:5,000)

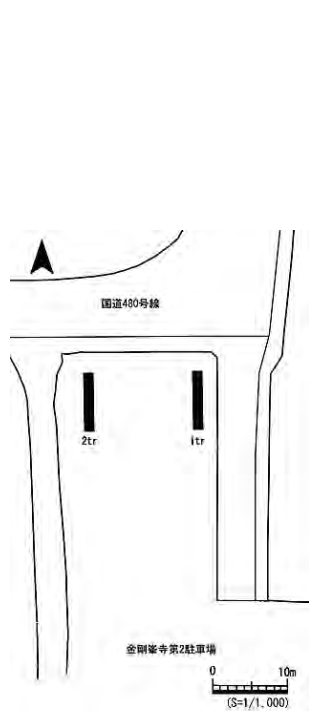
当該地における今後の埋蔵文化財保護のため、2本のトレンチ (1.5×8.0m) を設定し、確認調査を行った。1トレンチでは現地表面より約190cm下、2トレンチでは地表面より約160cm下まで掘削し調査を行った。どちらのトレンチも掘削底で明黄褐色礫混じり粘質土の地山が確認され、地山の数センチ上まで近現代遺物の混じる盛土や攪乱となることから、調査地は近代以降に盛土により造成された土地であることが明らかとなった。なお、地山や地山直上層からも遺構や遺物は確認できなかった。



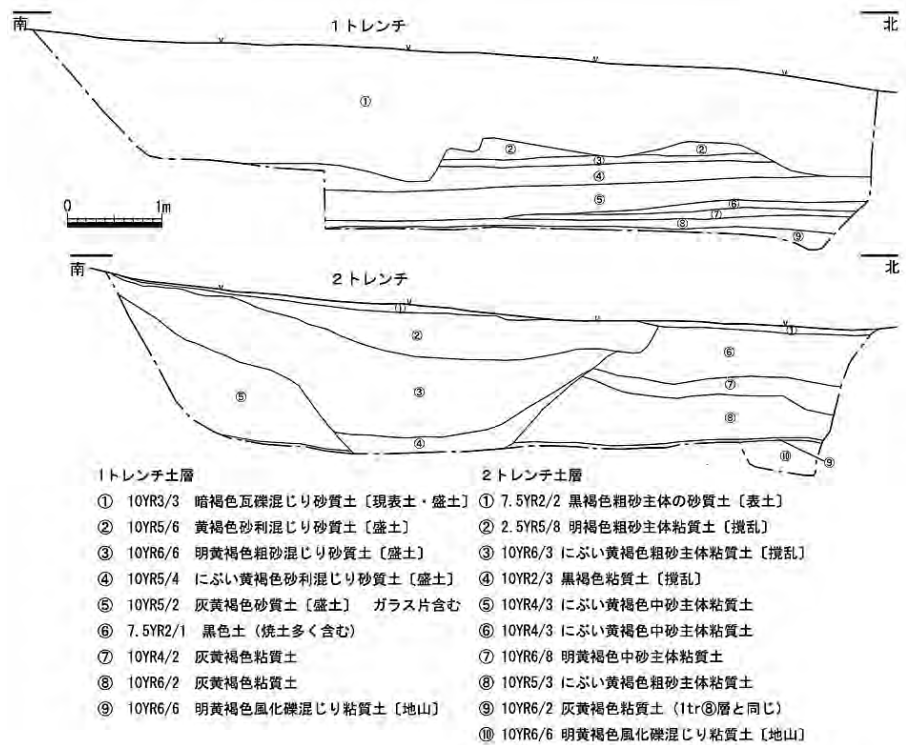
第62図 1トレンチ (全景・土層断面)



第63図 2トレンチ (全景・土層断面)



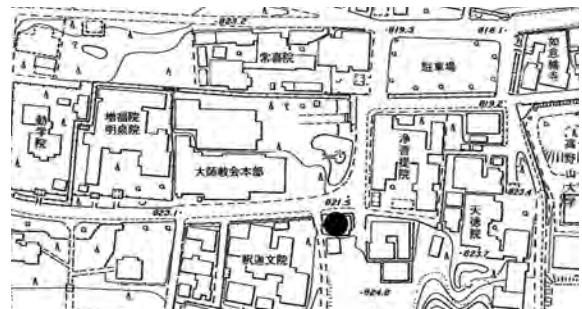
第64図 トレンチ配置図 (1 : 1,000)



第65図 土層断面図 (1 : 80)

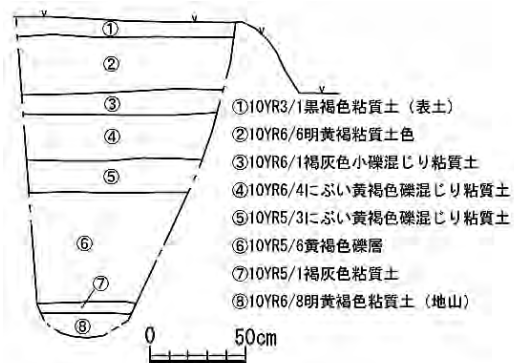
KBT 17-15

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山357
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年10月24日
- 6 調査原因 公共施設建設
- 7 調査の概要



第66図 調査の位置 (1 : 5,000)

公共施設建設の外溝工事に伴い立会調査を実施した。敷地北西隅の祠跡地の直下で調査地が盛土造成される以前の祠基壇の可能性のある黄褐色礫層の盛土を確認した。



第67図 土層断面図 (1 : 40)



第68図 南壁土層断面

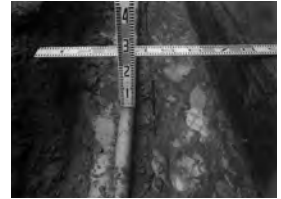
KBT 17-17

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山244
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年11月30日
- 6 調査原因 道路補修
- 7 調査の概要

道路補修に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約30cmで、確認した土層は既存道路に伴う盛土や攪乱のみであり遺物、遺構は確認できなかった。



第69図 調査の位置 (1:5,000)



第70図 土層断面図(1:40) 第71図 土層断面

KBT 17-18

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山268
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成30年3月22日
- 6 調査原因 道路補修
- 7 調査の概要

道路補修に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約30cmで、確認した土層は既存道路に伴う盛土や攪乱のみであり遺物、遺構は確認できなかった。



第72図 調査の位置 (1:5,000)



第73図 土層断面図(1:40) 第74図 土層断面

KBT 17-19

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山805
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城
- 5 調査の期間 平成29年11月24日
- 6 調査原因 埋設電話線設置
- 7 調査の概要

管路埋設に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約70cmで、確認した土層は既存道路に伴う盛土や攪乱のみであり遺物、遺構は確認できなかった。



第75図 調査の位置 (1:5,000)



第76図 土層断面図(1:40) 第77図 土層断面

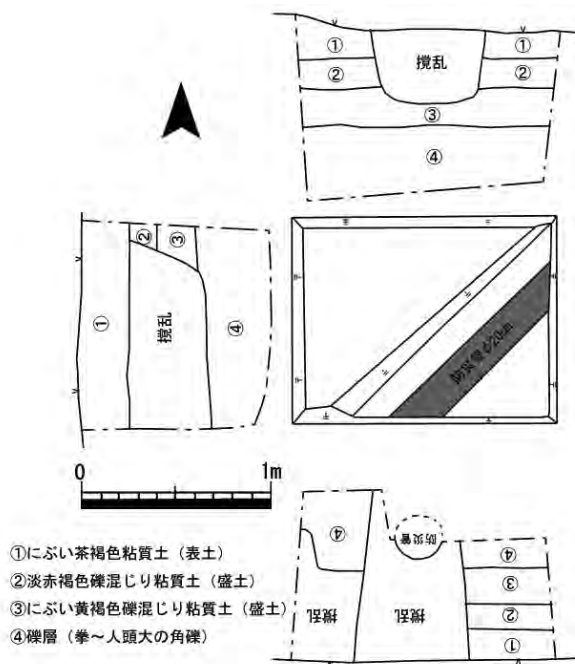
KBT 17-21

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山556
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年12月18日～12月19日
- 6 調査原因 確認調査
- 7 調査の概要

当該地における今後の埋蔵文化財保護のため、1.1×1.4mのトレンチを設定し、確認調査を行った。約90cm下まで掘削を行い土層堆積状況を確認したが、調査範囲内ではほぼ近現代の盛土しか確認できなかったことから、調査地は境内南面を流れる水路改修の際に造成された土地であると思われる。



第78図 調査の位置 (1 : 5,000)



第79図 平面・断面図 (1 : 40)



第80図 調査区全景



第81図 西壁土層断面

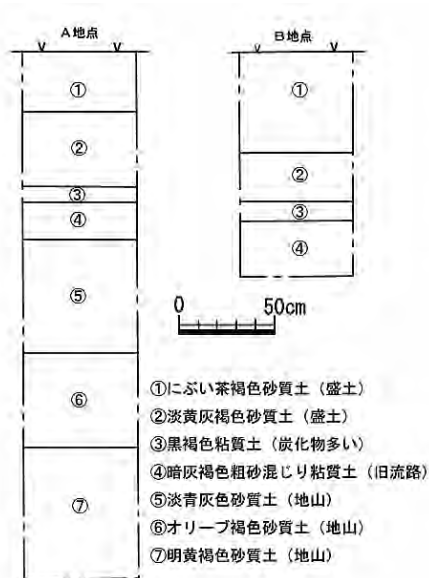
KBT 17-22

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山650
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成30年4月4日
- 6 調査原因 電柱新設
- 7 調査の概要

電柱の設置に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約270cmで、厚さ約70cmの盛土層の下は、10cm程の多量の炭化物を含む黒褐色粘質土、20cm程の暗灰褐色粗砂混じり粘質土の流路関係堆積土、地山と続き、遺物、遺構は確認できなかった。



第82図 調査の位置 (1 : 5,000)



第83図 土層断面図（1：40）



第84図 A地点土層断面



第85図 B地点土層断面

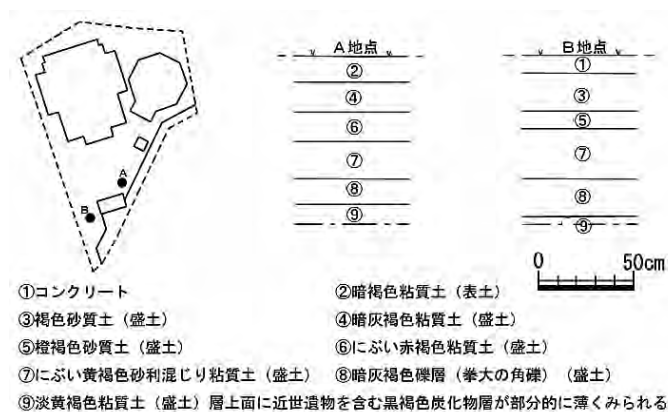
KBT 17-24

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山556
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成30年4月11日～4月12日
- 6 調査原因 防災消火管埋設
- 7 調査の概要



第86図 調査の位置（1：5,000）

管の埋設等に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約90cmで、現地表面から、約50cm下までは表土と現代盛土であり、50～80cmまでが近代の整地層、その下層が近世の整地層となっていたが、調査範囲内では遺構は確認できなかった。



第87図 土層断面図（1：40）



第88図 A地点土層断面

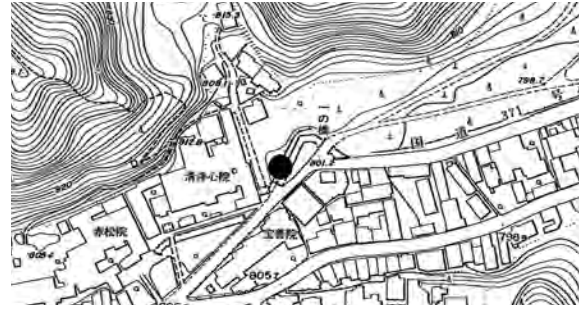


第89図 B地点土層断面

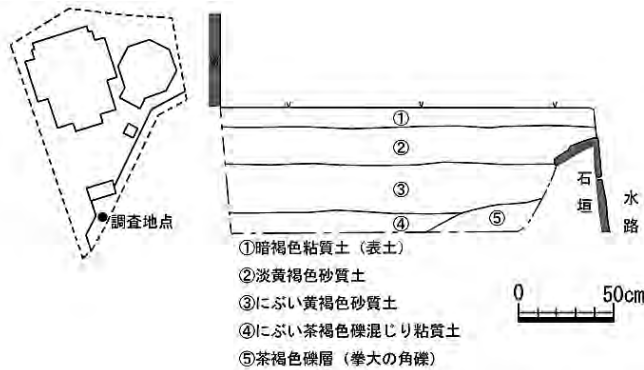
KBT 17-25

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山556
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成30年4月12日
- 6 調査原因 樹木移植
- 7 調査の概要

樹木移植に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約65cmで、確認した土層は表土や近代以降の盛土に限られ、遺物、遺構は確認できなかった。



第90図 調査の位置 (1 : 5,000)



第91図 土層断面図 (1 : 40)



第92図 土層断面

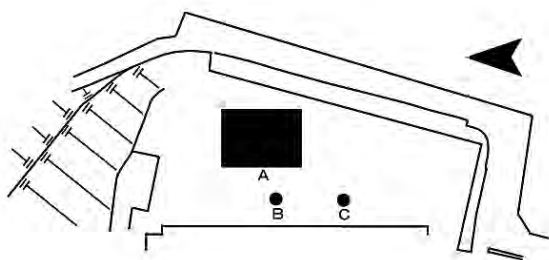
KBT 17-27

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山字本中院谷145
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成30年4月11日～5月10日
- 6 調査原因 個人住宅建設
- 7 調査の概要

住宅の基礎掘削の際に立会調査を実施した。地表面から40cm下までは、表土や盛土があり、その下に近代～近世と思われる遺構面がある。遺構面からは、いくつかの土坑等が確認できた。今後当該地で開発を行う際には注意が必要である。



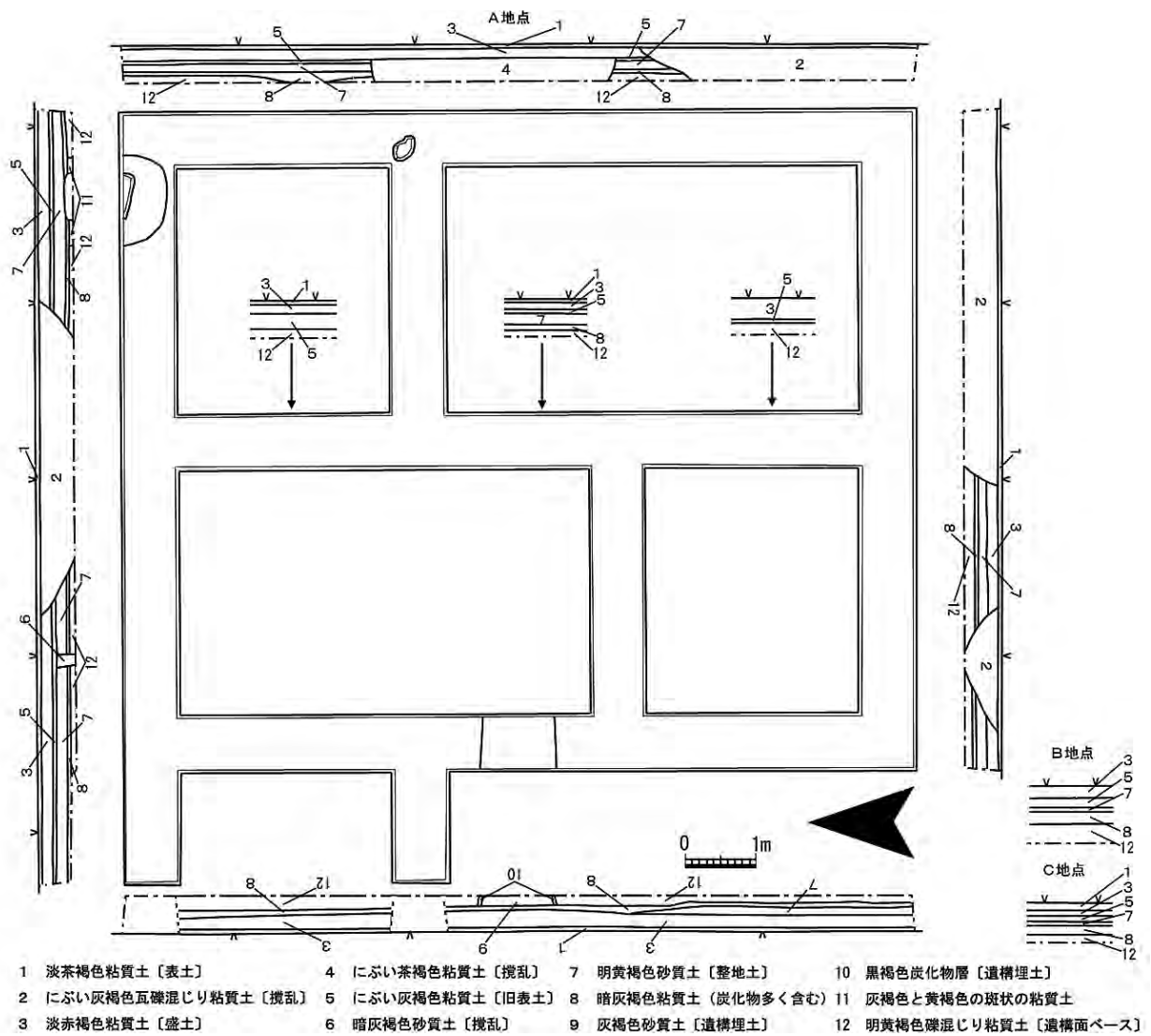
第93図 調査の位置 (1 : 5,000)



第94図 調査地点位置図 (1 : 1,000)



第95図 調査地全景



第96図 平面・断面図 (1:100)



第97図 A地点北壁土層断面



第98図 A地点東壁土層断面



第99図 A地点南壁土層断面



第100図 A地点西壁土層断面



第101図 B地点土層断面



第102図 C地点土層断面

報告書抄録

ふりがな	へいせい29ねんど こうやちようぶんかざいちようさねんぼう
書名	平成29年度 高野町文化財調査年報
副書名	
巻次	
シリーズ名	高野町文化財調査報告
シリーズ番号	第7集
編集者名	木本誠二
編集機関	高野町教育委員会
所在地	和歌山県伊都郡高野町大字高野山486番地
発行年月日	2019年3月29日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
		市町村	遺跡番号										
金剛峯寺境内 KBS17-01	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°21' 74"	135°59' 89"	20170612	2㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-04	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°21' 91"	135°60' 51"	20170907	2.6㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-06	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°21' 75"	135°60' 09"	20170907	1.6㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-07	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°22' 18"	135°60' 52"	20171114	3.3㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-10	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°21' 75"	135°60' 13"	20171114	5.7㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-11	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°22' 02"	135°60' 54"	20171117	1㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS17-12	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°21' 56"	135°59' 74"	20171220	4.4㎡	墓所建設	社寺		なし	石造物	
高野参詣道 KBS17-13	和歌山県伊都郡高野町高野山734	30344	2	34°21' 28"	135°57' 57"	20171124	24㎡	管路埋設	交通		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-01	和歌山県伊都郡高野町高野山361	30344	4	34°21' 26"	135°58' 37"	20171017	2.4㎡	植樹	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-02	和歌山県伊都郡高野町高野山529	30344	4	34°21' 37"	135°59' 72"	20170419	4.5㎡	遺跡確認	社寺		なし	瓦器・陶器 磁器等	
金剛峯寺遺跡 KB T17-04	和歌山県伊都郡高野町高野山425	30344	4	34°21' 04"	135°58' 73"	20170706	7㎡	消火管補修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-06	和歌山県伊都郡高野町高野山299-2	30344	4	34°21' 30"	135°58' 33"	20170712	3㎡	消火管補修	社寺		なし	土器	
金剛峯寺遺跡 KB T17-07	和歌山県伊都郡高野町高野山313	30344	4	34°21' 06"	135°58' 02"	20170704	4.5㎡	遺跡確認	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-11	和歌山県伊都郡高野町高野山350	30344	4	34°21' 20"	135°58' 31"	20170920	13㎡	管路埋設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-12	和歌山県伊都郡高野町高野山357	30344	4	34°21' 19"	135°58' 30"	20170918 ~20170920	24㎡	遺跡確認	社寺		なし	磁器・陶器 石造物	
金剛峯寺遺跡 KB T17-15	和歌山県伊都郡高野町高野山357	30344	4	34°21' 19"	135°58' 30"	20171024	4㎡	公共施設建設	社寺		なし	陶器・磁器	
金剛峯寺遺跡 KB T17-17	和歌山県伊都郡高野町高野山244	30344	4	34°21' 36"	135°57' 40"	20171130	21.4㎡	道路補修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-18	和歌山県伊都郡高野町高野山268	30344	4	34°21' 08"	135°57' 66"	20180322	500㎡	道路補修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-19	和歌山県伊都郡高野町高野山805	30344	4	34°21' 29"	135°57' 57"	20171124	2㎡	管路埋設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-21	和歌山県伊都郡高野町高野山556	30344	4	34°21' 37"	135°59' 51"	20171218 ~20171219	1.54㎡	遺跡確認	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-22	和歌山県伊都郡高野町高野山650	30344	4	34°21' 69"	135°58' 49"	20180404	0.56㎡	電柱建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-24	和歌山県伊都郡高野町高野山556	30344	4	34°21' 37"	135°59' 51"	20180411 ~20180412	88㎡	消火管埋設	社寺		なし	磁器・陶器	
金剛峯寺遺跡 KB T17-25	和歌山県伊都郡高野町高野山556	30344	4	34°21' 37"	135°59' 51"	20180412	3㎡	樹木移植	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T17-27	和歌山県伊都郡高野町高野山字本中院谷145	30344	4	34°21' 42"	135°58' 17"	20180411 ~20180510	280㎡	個人住宅建設	社寺		土坑等	磁器・陶器	

不許複製

(高野町文化財調査報告書 第7集)

平成29年度 高野町文化財調査年報

平成31年 3月29日 発行

編集者：高野町教育委員会

発行者：高野町教育委員会
和歌山県伊都郡高野町大字高野山486番地

印刷：株式会社 ウイング
